アウトリーチのツールとしてのジオストーリー
Geostory as an effective tool for geoscientific outreach

*尾方 隆幸[1]
*Takayuki Ogata[1]

1.琉球大学教育学部
1.Faculty of Education, University of the Ryukyus

地球科学のアウトリーチにおいて，ジオストーリーの有効性が注目され始めている。ジオストーリーに基づく地球科学的な解説は，学校教育，生涯教育，ジオパークなどのさまざまな場面で有効であるが，科学性とわかりやすさを両立させることは簡単ではない。しかし，地球科学者とメディア制作の専門家が共同作業を行い，この問題を追求することで，良質のジオストーリーを生み出す可能性が拓ける。その事例として，NHKの人気番組「ブラタモリ」の沖縄・首里編（2016年2月27日放送）を取り上げる。この回では，世界文化遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」に登録されている首里城跡とその城下町をフィールドに，サイトを巡りながら，地史学的テーマ，地形学的テーマ，水文学的テーマ，さらには世界遺産としての歴史・文化に関するテーマを組み合わせ，ストーリーを構築した。ストーリーの構築にあたっては，科学性の確保だけではなく，それぞれのテーマのシームレス性を重視した。こうした工夫は，さまざまな場面での地球科学のアウトリーチに応用できるものといえる。

キーワード：地球科学、アウトリーチ、世界遺産
Keywords: Geoscience, Outreach, World Heritage

©2016. Japan Geoscience Union. All Right Reserved.